

■作品選集 2018 掲載原稿作成要領

I. 掲載原稿作成基本方針

- ・作品選集は 2014 号より、全体の統一感を高めるため、各作品ページのレイアウトをそろえることとしております。また書式を定めたテンプレートファイルを用意し、皆様にデータ提出していただくことにより、編集、印刷の経費を下げ、皆様からの掲載負担金を低減することを目指しています。各作品には独自のコンセプトがあり、各々の表現内容にも差異があるものと思われませんが、以上の主旨をご理解いただき、ご協力のほどお願いいたします。
- ・ランドスケープ作品を代表するものとして“魅せる”ことを意識し、大判写真を中心としますので、写真や図面等のクオリティに留意してください。提出後の差替が必要な場合についてはご相談ください。
- ・作品選集では、冊子による刊行の他に、会員のインターネットでの閲覧ができるシステムを検討しております。掲載原稿の写真や図面等の著作権に十分ご注意ください。
- ・掲載作品については、造園学会全国大会でポスター展示をしていただくことを検討しております。あらかじめご了承下さい。
- ・必要なデータファイルはすべて造園学会HPよりダウンロードしてください。
<http://www.jila-zouen.org/>

II. 掲載原稿、図版レイアウト

- ・HPよりダウンロードしていただく様式-1~2（下図は縮小）に従い、テキスト（表題部、設計主旨の和文と英文）、写真、図面をA4見開2ページのそれぞれの指定枠内に収めてください。（その他、「資料-1 レイアウト具体例」、「資料-2 レイアウト補足説明」も参照ください。）
- ・完成版の掲載原稿をデータファイル（ai 形式データ、バージョンは CS2 以上 5 以下、画像は埋込みし、元データも添付、テキストはアウトライン化しない）として提出して下さい。
- ・上記の掲載原稿の出力見本（A3カラー）とPDF形式データを合わせて提出して下さい。

○○○プロジェクト
Abcdefghe Project 作品タイトル (和文) 小塚ゴシックPro R 8.5pt
Nagasaki-shi, Nagasaki 所在地 (和文・英文) 小塚ゴシックPro R 8.5pt

左頁の図版枠：幅182.5mm、高さ186.5mm
レイアウトのルール：
・赤いガイドを活用し、下図のA～Cいずれかのレイアウト形式を選択する。
・キャプション (MSPゴシック7pt) を図版の直下、枠の右に寄せて配置する。
・キャプションは必ず1行におさめ、和文、英文、撮影年月の順で記載する。
・図版枠を分割する場合、横方向の余白は2mmとし、上下の図版の間と下端のキャプション記入用の余白は4mmとする。

図版1点を全面に配置
A

上段は1行
下段は1行

様式-1 フォーマット-A 縮小版
(空間設計部門、エヰング・マネジメント部門でエヰングを対象とした作品)

右頁の図版枠：幅182.5mm、高さ186.5mm
図版枠レイアウトのルール：
・左頁でA以外のレイアウトを採用した場合、右頁の図版は5点以内とする。
・図版の両端の範囲内に1行におさめ、和文、英文、撮影年月の順で記載する。
・図版の両端の範囲内で1行におさめ、和文、英文、撮影年月の順で記載する。
・自由。資料1レイアウトの具体例を参照すること。

作者様のレイアウトルール
・人名部分の行数は、各列が出来るだけ均等になるようにする。
・企業名の最下行の下端は、各列でそろえること。

キャプション MSPゴシック 7pt オランダ語 Dutch Slips (1425)

3社の場合
Abcdefghe Project 作品タイトル (和文) 小塚ゴシックPro R 8.5pt
Nagasaki-shi, Nagasaki 所在地 (和文・英文) 小塚ゴシックPro R 8.5pt

株式会社 ○○設計
Abcdefghe Co., Ltd.

株式会社 ○○設計
ABCDEF CORPORATION

株式会社 ○○設計
Abcdefghe Co., Ltd.

会社名 (和) 小塚ゴシックPro R 8.5pt 左側の
会社名 (英) 小塚ゴシックPro R 7pt 右側の

シーボルト館 Seibold house (1425)

平楽図 Plan

豊後守 M. Uzeon (1425)

見出し MSPゴシック 8pt 見出しの後は必ず改行する
本文 (和文) MSP明朝 8pt 略称後は全角 () 1行に統一 段落毎の文字下げを行う 行間10pt 均等配置 (最終行を揃え)

見出し MSPゴシック 8pt 本文 (英文) MSP明朝 8pt 行間10pt 左寄せ

見出し MSP明朝 8pt 本文 MSP明朝 8pt 行間10pt 均等配置 (最終行を揃え)

○○○プロジェクト
Abcdefghe Project 作品タイトル (和文) 小塚ゴシックPro R 8.5pt
Nagasaki-shi, Nagasaki 所在地 (和文・英文) 小塚ゴシックPro R 8.5pt

左頁の本文・図版枠：幅182.5mm、高さ242.0mm
レイアウトのルール：
・キャプション (MSPゴシック7pt) を図版の直下、枠の右に寄せて配置する。
・キャプションは、必ず1行におさめ、和文、英文、撮影年月の順で記載する。
・図版枠を分割する場合、上下の図版の間余白は4mmとする。
・見出しは、前段より1行あけること。

様式-2 フォーマット-B 縮小版
(計画・企画部門、エヰング・マネジメント部門でマネジメントを対象とした作品)

右頁の図版枠：幅182.5mm、高さ186.5mm
図版枠レイアウトのルール：
・左頁でA以外のレイアウトを採用した場合、右頁の図版は5点以内とする。
・図版の両端の範囲内に1行におさめ、和文、英文、撮影年月の順で記載する。
・図版の両端の範囲内で1行におさめ、和文、英文、撮影年月の順で記載する。
・自由。資料1レイアウトの具体例を参照すること。

作者様のレイアウトルール
・人名部分の行数は、各列が出来るだけ均等になるようにする。
・企業名の最下行の下端は、各列でそろえること。

キャプション MSPゴシック 7pt オランダ語 Dutch Slips (1425)

3社の場合
Abcdefghe Project 作品タイトル (和文) 小塚ゴシックPro R 8.5pt
Nagasaki-shi, Nagasaki 所在地 (和文・英文) 小塚ゴシックPro R 8.5pt

株式会社 ○○設計
Abcdefghe Co., Ltd.

株式会社 ○○設計
ABCDEF CORPORATION

株式会社 ○○設計
Abcdefghe Co., Ltd.

会社名 (和) 小塚ゴシックPro R 8.5pt 左側の
会社名 (英) 小塚ゴシックPro R 7pt 右側の

シーボルト館 Seibold house (1425)

平楽図 Plan

豊後守 M. Uzeon (1425)

見出し MSPゴシック 8pt 見出しの後は必ず改行する
本文 (和文) MSP明朝 8pt 略称後は全角 () 1行に統一 段落毎の文字下げを行う 行間10pt 均等配置 (最終行を揃え)

見出し MSPゴシック 8pt 本文 (英文) MSP明朝 8pt 行間10pt 左寄せ

見出し MSP明朝 8pt 本文 MSP明朝 8pt 行間10pt 均等配置 (最終行を揃え)

1. 表題部

- ・ 作品名、所在地（市区までとする。例：東京都千代田区、大阪市中心区）、設計者氏名、所属名
- ・ 各英文併記（市は“-shi”ではなく、“City”とする。区は“-ku”。 “pref.”/“prefecture”はつけない。）

国内作品

例)
Koto-ku, Tokyo
Chofu City, Tokyo
Nagano City, Nagano
Higashi-ku, Fukuoka City

海外作品：都市名、県・州・省、国名とする。

例)
New York City, USA
Cambridge, Massachusetts, USA
Den Haag, South Holland, Netherlands
Qingdao, Shandong, China

2. 設計・計画主旨

※設計・計画主旨、和分の文字数の訂正 2017.07.05

- ・ 和文（空間設計部門：**840**字以内、計画企画部門：2800字以内、エジング・マネジメント部門：**840**字または2800字以内（※使用するフォーマットによる））および要約した英文（指定枠内）
- ・ 必要に応じて和文および英文の1行目に設計・計画主旨のタイトルを記載して下さい。
- ・ 様式-2 フォーマット-B 使用の場合は、適宜小見出しも記載して下さい。

3. 写真

- ・ 各写真につき、キャプション、英文、撮影年月（'15.4 撮影者）を記載して下さい。（撮影者は必要な場合のみ）キャプションは必ず1行におさめてください。
- ・ 写真のリンクデータ（デジタルデータ：出力原稿と同じサイズで 300dpi 以上）を掲載原稿のデータファイルと合わせて提出してください。
- ・ 著作権処理は応募者の責任とします。
- ・ 精度の劣るもの、版下として不適切な場合は再提出を求めることがあります。

4. 図面等

- ・ 平面図は必ずレイアウトしてください。
- ・ その他の図版（断面図、立面図、概念図など）の有無は適宜ご判断下さい。
- ・ 各図面につき、図面名称、バースケール、方位記号、主要施設名を必ず記入して下さい。
- ・ 図面等のリンクデータ（出力原稿と同じサイズで 300dpi 以上）を掲載原稿のデータファイルと合わせて提出して下さい。
- ・ 精度の劣るもの、版下として不適切な場合は再提出を求めることがあります。
- ・ ai データ上で図形やダイアグラムを作成した場合は、必ずグループ化をしてください。

5. 共通事項

- ・写真や図面の画像データは、カラー設定を CMYK 形式に変換し、レイアウトしてください。
- ・ai データも同様にカラー設定を CMYK 形式としてください。(配布フォーマットは CMYK 形式)
- ・ai データ上のテキストは、アウトライン化しない。また色は純ブラックとしてください。(グレー色は使用しない)
- ・ai データ内で作業上作成されるレイヤーは、できるだけ簡素な分け方として下さい。(例：「図版」、「文字」、「図形」など)

Ⅲ. 作品基本データ

- ・指定の記入様式-3 (ワード形式) に必要事項を正確に記入して下さい。
- ・2014 号より、作品基本データは巻末に集約して記載することになりました。記述の分量などについては、既刊の作品選集を参照して下さい。
- ・所在地は、可能な限り、番地まで記入して下さい。
- ・計画・設計・監理欄の担当を単に会社名(発注者)とするのではなく、担当者名もなるべく明記して下さい。また、施工者欄についても同様をお願いします。
- ・作品選集掲載者の氏名も作品基本データに掲載してください。
- ・規模は、対象となるランドスケープ作品の計画面積を記入して下さい。
- ・キーワードは、5 つまで記入可とします。従来の「種別」および「主要施設」(既刊の作品選集を参照)に記載されていたような作品の分類や検索に役立つキーワードを記入して下さい。
- ・別途配布されている〈様式-3 記入例〉をしっかりと読み、記載情報の統一化にご協力ください。

造園作品選集 2014 (No.14)

■作品基本データ

- ・指定の記入書式(ワード形式)に必要な事項を正確に記入して下さい。
- ・本号より、作品基本データは巻末に集約して記載することになりました。記述の分量などについては、既刊の造園作品選集を参照して下さい。
- ・所在地は、可能な限り、番地まで記入して下さい。
- ・計画・設計・監理欄の担当を単に会社名(発注者)とするのではなく、担当者名もなるべく明記して下さい。また、施工者欄についても同様をお願いします。
- ・作品選集掲載者の氏名も作品基本データに掲載してください。
- ・規模は、対象となるランドスケープ作品の計画面積を記入して下さい。
- ・キーワードは、5 つまで記入可とします。従来の「種別」および「主要施設」(既刊の造園作品選集を参照)に記載されていたような作品の分類や検索に役立つキーワードを記入して下さい。

□作品名: _____

□所在地:

□事業主:

□計画・設計・監理

基本構想:
基本計画:
基本設計:
実施設計:
施工監理:

様式-3 縮小版

□併設作品:

□計画及び設計協力:

□施工者:

□計画・設計期間:(西暦) 年 月 ~ 年 月

□施工期間:(西暦) 年 月 ~ 年 月

□規模:

□キーワード:

□立地条件:

IV. 計画企画部門作品 特記事項

- ・計画企画部門では、実現された空間よりも、その計画や企画の独自性を表現していただきたいと考えております。コンセプトやプロセス概念などを中心としたロジック展開の記述に重点をおいていただくようお願いします。
- ・計画企画部門のページ構成は、左頁は3段組み文章記述を基本形（3段目は脚注スペース：文章をわかりやすく補足する図版など）とし、右頁は実現された空間の写真よりも、ダイアグラムや概念図、計画図を中心に構成して下さい。（写真も可）「様式-2フォーマット-B」参照。

V. エイジング・マネジメント部門作品 特記事項

- ・「エイジング」を対象とした作品は、設計部門用レイアウト見本を基本スタイルとして下さい。「様式-1フォーマット-A」参照。エイジングの Before-After、あるいは経年変化などが明快にわかる写真、図版を入れていただくようお願いいたします。
- ・「マネジメント」を対象とした作品は、図版や写真などを使用し、維持管理や運営活用などの継続的な活動の様子が分かるような紙面構成として下さい。ページ構成は、上記の計画企画部門に記載の内容を参考にしてください。「様式-2フォーマット-B」参照。

■掲載原稿チェックリスト

* 刷り上りの体裁とイメージは、既刊「作品選集 2016」も合わせて参考にして下さい。

1. 全体的な注意事項

- 作品名称は的確か。英文は併記したか。
- 所在地、設計者名、所属名に不備はないか。英文は併記したか。
- 設計説明（文章表現、内容）を再考する必要はないか。英文の要約は併記したか。
- 写真の取り直しの必要はないか。（アングル、鮮明さ、季節感）
- 図面の描き直しの必要はないか。（出版時の縮尺・刷り上がりを見栄えを考慮）
- 作品基本データ記載に不備はないか。（本要領および既刊の記載例と確認して下さい。）
- 説明、写真、図面の内容及び表現は丁寧・適切なものとしたか。
- レイアウトは所定様式に従って行なわれているか。（所定様式の変更は不可とします。）
- 作品と作者との関係、設計への関与は明確か。作品と関係者との分担明示はしたか。
 - 応募作品の作者名（序列など）
 - 関係機関（了解など）
 - 関係者との調整（作者名に入れる／作品説明でふれる／作品基本データに記載など）
- 全体計画（造園家の関与など）と応募作品（部分の場合）との関係や、応募作品と併設の建築・彫刻作品との関係は、設計説明や作品データを通じて明白か。

2. 各部分ごとの注意事項

- 図面に、①名称、②バースケール、③方位記号、④主要施設名称 を記入したか。
- 印刷仕上がり時に、上記①～④の大きさやレイアウトは適当か。
- 写真に、①キャプション、②英文、③撮影年月（'13.4）は全てに付けたか。
- 画像データの解像度は適切か。カラー設定は CMYK 形式、300dpi 以上。

3. 提出物及び提出方法

- (1) 掲載原稿の完成版データファイル（ai 形式データ、バージョンは CS2 以上 5 以下、画像は埋込みしたうえで別途添付、テキストはアウトライン化しない）
 - (2) 上記の出力見本（A 3 カラー）及び上記の PDF データ
 - (3) 写真および図面等の画像データ（リンクされた最終データ）
 - (4) 作品基本データ（ワード）
- 上記のデータは CD-R もしくは DVD-R に収録し、(2)、(4) の出力見本とともに A 4 版 2 穴クリアポケット（厚手のもの）に収め、下記まで郵送してください。CD-R 及びクリアポケットには必ず作品登録番号と作品名をシール等を用いて明記してください。

■送付先

〒150-0041 渋谷区神南 1-20-11 造園会館 6 階
公益社団法人 日本造園学会事務局 作品選集刊行委員会宛 Tel 03-5459-0515

連絡先：作品選集刊行委員会
担当幹事 岸 孝
Email sakuhin@jila-zouen.org

4. 提出期限 「 2017 年 7 月 2 8 日（金）必着 」